

県の考えに対する各団体などの対応

荒砥高校をサポートする会

7月20日、保護者会や同窓会など各種団体は、荒砥高校の存続の重要性を認識し、荒砥高校を支え存続・発展させることを目的に、佐藤町長を会長とする「荒砥高校をサポートする会」を設立しました。この考えに賛同する個人・団体が会員となり、荒砥高校をサポートしていきます。多くの町民のかたのご協力をお願いします。

主な活動内容：

①「がんばれ荒砥高校」というのぼりを作成し、荒砥駅や役場、高校周辺などに設置し、運動を盛り上げていきます。

②知事・県教育長・県議会へ陳情を行っていきます。

③町民大集会を開催します。

現在の荒砥高校

○荒砥高校をサポートする町民大集会

いつ 8月29日(日)

午後1時30分

▼どこで 荒砥小学校体育館

▼参加対象 町民(どなたでも)、荒砥高校保護者、同窓生、町内企業関係者など

▼内容 記念講演

○演題 「夢見る力ー故郷は生きたる源」

○講師 渡辺えりさん(女優・演出家：山形市出身)

▼参加料・申込 不要、直接会場にお越しください。

■問い合わせ

荒砥高校をサポートする会事務局(町教育委員会 ☎85-6144 / 総務課企画調整係 ☎85-6123)

荒砥高校同窓会

荒砥高校同窓会は、「荒砥高校をサポートする会」とともに、高校存続に向けた取り組みを行い、「知事と語ろう市町村ミーティングinしらたか」では、直接吉村知事に要望を行っています。

●多様な進路希望と興味や関心に応えるために、3つのコース制を採用しています。(コース制のほかに選択科目があり、どのコースからでも進学や就職ができます。)

●地域連携の教育が充実しており、「まなびサポーター(地域のかた)」による魅力ある授業が受けられます。

●地域貢献に力を入れており、ボランティア活動などで地域との交流を深め、職場体験を通して社会人としての力を養うことができます。

●囲碁部は、県大会女子団体一位、個人戦一位・三位という成績を収める全国レベルです。

校訓「克己復禮」

孔子が「己(の身勝手)に打ち克つて礼にかえることが人徳につながる」と論語の中で説いたもの。謙虚にして積極的に生きるこの姿勢こそすべての向上の源泉である、との判断から昭和62年に制定。

出身中学校別人数 (平成22年4月9日現在)

中学校	1年	2年	3年	合計
白鷹東	22	21	17	60
白鷹西	16	13	15	44
長井南	14	9	6	29
長井北	11	15	14	40
飯豊	3	1	0	4
川西一	0	1	0	1
米沢四	1	0	0	1
計	67	60	52	179

生徒数 (平成22年4月9日現在)

学年	男子	女子	合計
1	22	45	67
2	29	31	60
3	27	25	52
計	98	101	179

31年4月1日
通常課程定員増加認可(100人)

33年3月30日
養蚕教室竣工

36年12月27日
家庭科教室2・図書館竣工

38年4月1日
全日制課程に商業科設置

(50人)

39年6月29日
後援会結成

40年4月1日

定時課程の家政科募集停止、生活科設置(20人)

42年4月1日

定時課程の普通科募集停止、完全県移管決定

44年4月1日

全日制課程の商業科募集停止、普通科3学級となる

51年3月25日

柔剣道場竣工

53年4月1日

定時課程の募集停止、全日課程普通科4学級となる

55年3月31日

新校舎竣工
56年3月31日
定時制の課程廃止

59年7月19日

新体育館竣工

62年4月1日

校訓「克己復禮」制定